



「2年修学旅行」京都・伏見稲荷大社にて

TOKO JUNIOR HIGH SCHOOL

東光

第8号

『学び合い』：「誰一人見捨てない」「みんな幸せになる」Think globally, Act locally.

福岡市立東光中学校 平成30年度学校通信

生徒も教師も同じものをめざしている

校長 高木 徹

せみの声 園芸ばたけに 夏が来た
作業学習 まぶしい日差し

2年生の藤野潤さんの短歌です。11月発刊の『中学生文芸』（福岡市中学校文化連盟）の入選作です。先日、秋に中庭で収穫したさつまいもをいただいて、とても幸せな気分になりました。夏の暑いときから夢学級の生徒たちが丹精込めて育ててきたさつまいもの味は、格別です。とろけるような甘さが心にも広がりました。

ちょっと前に夏休みが終わったと思っていたら、もう冬休みを迎える時期となりました。正門を入れてすぐ右に掲示板があり、生徒会が毎月、色画用紙で工夫を凝らしたすてきな行事予定表を掲示しています。12月になり、紅葉の11月から、トナカイが引くそりや、クリスマスプレゼントの箱が飾られた予定表にいつの間にか変わっています。

11月30日の耐寒登山まで、様々な場面で東光中を引っ張ってきた3年生に変わって、2年生が新しいリーダーとしてすばらしい活動を始めています。11月26日、新生徒会の方針を決める生徒総会が開かれました。今年の生徒会スローガン『幸せへの架け橋 誰一人見捨てず手を取り合おう一』を見て感激しました。本校が『学び合い』を通して育てたいと思う生徒の姿と子どもたちがめざすものが一致しているからです。「そんなのあたりまえ」と思うかもしれませんが、学生時代・教師生活を合わせて、これまでの私の経験では、こんなことは初めてです。そもそも、生徒は「学校が求める生徒像」など知らないのが普通でした。ところが、東光中の生徒会は、学校がめざすものをしっかりと理解し、自分たち自身でも同じものをめざそうと宣言してくれていると私は受け止めました。このスローガンの意味について、「12月の生徒会だより」の中でも、書記の堀田さんは次のように説明しています。「…このスローガンには、皆で幸せに向かって進んでいこうという意

味が込められています。しかし、自分のことだけを考えて行動する人がいる学校は全員が幸せな学校とは言えません。そこで、全員が男女関係なく明るく楽しく過ごしやすい学校をつくるために、全員で協力していこうという意味を込めてサブタイトルを“一人も見捨てず手を取り合おう”にしました。一人一人が相手の気持ちを考えて行動し、このスローガンのもと頑張っていきたいと思います。」

これとよく似た言葉を1年2組の学級通信『きせき』26号の中でも見つけました。担任の有馬先生が自身の愛読書『銀河鉄道の夜』を紹介して1年2組の生徒に向けて書かれた文章です。「…さて、みなさんにとっての“ほんとうの幸”とはなんですか？人それぞれの幸せがあるのは間違いないです。ただ、自分自身の幸せしか考えられないような人にはなってほしくはありません。もちろん自分自身の幸せは大切にしてほしいですし、誰かのために献身しなさいとも言いません。自分ひとりがよければ…他人を蹴落としてでも…というような考えをしてほしくないのです。人は決して独りでは生きていけません。生きていくなかで、どうしようもなく他人と関わって生きていくのです。そのような中で、自分自身の幸せを実現していくのに、自分ひとりのことだけを考えてもどうにもなりませんよね。日々みなさんには言っていますが、優しい人になりましょうね。他人の幸せを心から願う人になりましょう。みんなの幸せのなかに、あなたたち1人ひとりの幸せが含まれているのです。」

東光中は、生徒も教師も同じ心で、同じ方向をめざして進んでいることを実感しています。3年生、君たちが先輩から受け継ぎ、さらに発展してきたこの学校は、さらにすばらしい学校になると思います。そして、これからも、この学校が大切にしてきたものをずっと心の中に持ち続けてほしいと思います。

「修学旅行を振り返って」

2年 田浦 功太

今回の修学旅行では、「学楽両道～Learn from Everything～」のスローガンのもと、2年生全員がしっかりと活動できたと自分では思います。

USJではアトラクションを楽しみながら、クルー（従業員）の方々へインタビューをするという課題がありました。ここでは、接客業の大変さを学ぶとともに、仕事にも関わらず丁寧な受け答えをしてくれたクルーのみなさんの優しさを感じました。

京都を散策して文化に触れる班別自主研修でも、外国の方にインタビューをするという課題がありました。英語でうまくコミュニケーションがとれるか不安でしたが、意外と相手の話す英語を聞き取ることができ、自分の成長を実感しました。

この修学旅行を通して、2年生の一人一人が学んだことを、来年度学校をリードしていく最上級生になったときに、生かしていきたいと思います。



◇ 「2年修学旅行」大阪・京都へ行きました。

12月11日(火)～13日(木)の日程で、2年生は大阪・京都へ修学旅行に行きました。当日に向けて実行委員を中心に、班編制や係の仕事分担、班別自主研修の計画等の準備に取り組みました。その成果として、今年のスローガン「学楽両道～Learn from Everything」のとおり、楽しみながらもしっかりと学びができた修学旅行になりました。ここでも本校が取り組む『学び合い』が生きていました。



初日の午後、USJで過ごしました。とても楽しい時間を過ごすことができました。

2日目は、京都市内の班別自主研修でした。事前に立てた計画どおり班で協力しながら行動し、京都の歴史に触れることができました。また、訪問先で出会った外国の方に英語でインタビューもしました。旅館に戻ったら、各班タブレットに記録したものをもとに活動のまとめをしました。



2日目の夜は舞子さんの踊りを鑑賞し、質問をするなど、京都の文化に触れる学習をしました。



クラスのみんと食べる夕食はとてもおいしかったようです。その日の出来事について会話弾みました。



3日目の午前中は、伝統工芸体験でした。清水焼上絵付け、京扇子絵付け、ガラス器絵付け、念珠づくりの4コースに分かれて活動しました。

◇ 「耐寒鍛錬遠足」今年も全校生徒で二丈岳に登りました。

11月30日(金)、今年も「耐寒鍛錬遠足」として二丈岳登山を行いました。当日は、晴天で風もなく、気持ちのよい季候でした。1～3年で縦割グループをつくり、「みんなで協力して全員が頂上まで行くことができる」ことを目標に取り組みました。



◇ 「校内駅伝大会」盛り上がる！

12月に入り、保健体育の学習では、長距離走に取り組んでいます。時間走や距離走に取り組む中で、自分の体力を高めたり、長い距離を効率よく走るための呼吸法や走り方などを探ったりしています。単元のまとめとして、学年ごとに駅伝大会を行いました。チームを作り、メンバーの走力に合わせて走順や距離を工夫して勝敗を争いました。各チーム、お互いに励まし合い、勝利をめざしてがんばりました。



Teacher's Commentary

「Learn from Everything」

今年度の修学旅行は、スローガンのサブタイトルのように全ての取組から学びを得られた3日間となりました。東光中の修学旅行は、『学び合い』の理念の下、実行委員の生徒が中心となってつくり上げます。私たち教師は、事前学習～現地での研修～事後学習の一連の課題を設定し、学習は生徒たちが主体となって行ってきました。「先生、エルモって凄いですよ。たくさんの人に囲まれていても、絶対小さな子どもを優先するんです」。USJ 内で生徒にかけられた言葉に感心しました。事前にクルー（従業員）の仕事について学習したことで、生徒たちは2つの目線（来場者/クルー）をもってUSJを楽しめたようです。京都では、カメラ代わりに学校のiPadを携帯して班別研修を行いました。充実の表情で旅館に戻ってきた生徒たちからiPadを回収し、撮ってきた写真を見て驚きました。ポートレート写真が少なく、事後学習で制作する『京都の魅力を伝えるリーフレット』のための資料写真が多いのです。しっかり楽しみつつも学びに向かう姿勢を忘れない生徒たち、修学旅行の全取組を通して、教師の期待を上回る成長を見せてくれました。

2年職員 伊東 心

今後の予定

- 12月21日(金) 大掃除・全校集会
- 25日(火) 冬季休業(～1/4(金))
- 1月7日(月) 大掃除・全校集会
- 22日(火) 3年私立高校専願入試(福岡地区)
- 29日(火) 新入生説明会、授業・部活動体験
- 2月1日(金) 3年私立高校前期入試(福岡地区)
- 5日(火) 3年公立高校推薦入試(～2/6(水))
- 8日(金) 1年社会人講話
- 9日(土) 3年私立高校後期入試(福岡地区)
- 14日(木) 1・2学年年末考査・3年まとめテスト
- 15日(金) 1・2学年年末考査・3年まとめテスト
- 23日(土) 土曜授業(第9回立志式)